

香水瓶、ヴェネチア…華麗なるガラスの競演

西洋装飾美術

2018 オータムセール東京では、湘南江の島香水瓶美術館コレクションの第2弾、ヴェネチアンガラスコレクションの第3弾と主軸となる2つのコレクションを揃えた。アール・ヌーヴォーのガラス作品、陶磁器や家具等の装飾美術を含む全301点で部門単体の落札率は74%、落札総額は約7,400万円、エスティメイト下値からの出来高率は102%と、全体的には堅調な結果を収めることが出来た。

ラリック香水瓶、2,185万円でトップロット

湘南江の島香水瓶美術館コレクションでは、1990年に東京都庭園美術館の「ルネ・ラリックの香水瓶展」に出展された貴重な香水瓶「牧歌」は、欧米とアジアからの電話ビッドが激しく競り合い、落札予想価格下値の約2.7倍となる2,185万円で落札された。個人収集家からのガレ、ドーム、R.ラリックの約20点の香水瓶コレクションでは、ドームの「花畑文アトマイザー」は46万円、「蝶と猫文香水瓶」は51万7500円と相次いで伸びの良い結果に。エミール・ガレの工房作品は少々苦戦するも、マグノリア文壁灯は落札予想価格下値の3.5倍の69万円で落札。またラメールやグラヴュール等のドームならではの技法を凝らした「ケシ文花瓶」は下値の1.4倍となる207万円で愛好家によって落札された。



R. ラリック「牧歌」 h9.3 × w6.5 × d3.5 cm
落札予想価格 800万 - 1,300万円 落札価格 2,185万円

ヴェネチアンガラス第3弾 大平洋一が人気



大平洋一「BOLLA」
h22 × w16.5 × d13.5 cm



V. コスタンチーニ

2017年の弊社セールにて100%の落札率を記録したヴェネチアンガラスコレクションの第3弾が登場。2003年まで世田谷にギャラリーを構えていたヴェネチアンガラス専門店「ヴェネチアン・テイル」のオーナーが長年に渡り収集した作品の数々。中でも、ムラノ島の日本人作家として知られる大平洋一の作品は、欧米のマーケットで活発に取引がされている人気作家のひとり。「BOLLA」が109万2,500円で落札されると、後続作品にも入札が集まり、4点が始まり値の10倍を超えて落札された。その他、V. コスタンチーニの昆虫、水辺の生物、鳥の3ロットはそれぞれ始まり値を8～14倍を超えての落札となった。

10年の節目、香港で西洋装飾美術を紹介

香港進出10周年という節目の香港セールには、ガレやドームの花器、マイセンのフィギア、ヴィエナスタイルの絵皿やKPMの陶板などを紹介した。色鮮やかなボヘミアのリキュールセットやワインガラスなどを取り揃えたところ、ガラス類の平均伸び率は320%、ガレの工房作品にも反響があった。エスト・ウエストは2008年の香港進出当初からアール・ヌーヴォーやアール・デコのガラス作品を香港市場に紹介しており、当初は珍しさもあり受け入れられていたが、数年経つうちに海外運送のリスクや費用を上回る程の結果が得られなくなっていたが、中国骨董や中国美術ではない新たな投資先としての西洋美術に活路を見出し、市場の受け皿の一つとして機能しているようである。



E. ガレ「風景文双耳付花瓶」
h44.2 × w31.8 × d15.9 cm